



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月14日

上場会社名 Green Earth Institute株式会社 上場取引所 東
コード番号 9212 URL https://gei.co.jp/ja/
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 伊原 智人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 浦田 隆治 (TEL) 03-5315-0531
定時株主総会開催予定日 2024年12月24日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2024年12月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	1,002	11.7	△148	—	△138	—	△133	—
2023年9月期	897	53.4	△106	—	△108	—	△112	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△11.87	—	△6.6	△5.1	△14.8
2023年9月期	△9.97	—	△5.2	△3.6	△11.9

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 一百万円 2023年9月期 一百万円

注. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	2,736	1,975	72.2	174.91
2023年9月期	2,672	2,110	78.9	186.93

(参考) 自己資本 2024年9月期 1,974百万円 2023年9月期 2,108百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	3	△81	△48	2,274
2023年9月期	△321	△13	△5	2,401

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	201	21.0	△174	—	△175	—	△175	—	△15.51
通期	1,046	4.4	△148	—	13	—	9	—	0.86

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	11,290,900 株	2023年9月期	11,277,700 株
② 期末自己株式数	2024年9月期	36 株	2023年9月期	36 株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	11,280,257 株	2023年9月期	11,253,925 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

日本においては2023年に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、社会・経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、長期化するロシア・ウクライナ情勢や米国の金利に関連した急激な円安の進行に加え、中東情勢緊迫化等の背景から、原材料価格やエネルギー価格の上昇により、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下であるものの、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)より受託したバイオフィアウンドリ事業やグリーンイノベーション基金事業等、国内外のパートナー企業等との大型のパイプラインを含む研究開発を進捗させております。

なお、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢については、海外企業との取引において為替相場の影響は受けるものの、当社の現在の事業展開地域に当該各国は含まれておらず、現段階において、当該情勢による直接的な事業影響はございません。

以上の結果、当事業年度は売上高1,002,540千円(前年同期比11.7%増)、営業損失148,793千円(前期営業損失106,917千円)、経常損失138,087千円(前期経常損失108,156千円)となりました。当期純損失については、133,881千円(前期当期純損失112,215千円)となりました。

なお、当社はバイオものづくり事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

注1. バイオフィアウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオものづくり技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオフィアウンドリ拠点)を構築、運用する事業(2021年度より6年間総額54億円、このうち建屋及び設備分(25億円程度の予定)は売上高には計上されません。)であります。

2. グリーンイノベーション基金事業は、「2050年カーボンニュートラル」を実現するため、経済と環境の両面の目標達成に繋がるような、野心的な2030年目標(性能、コスト、生産性、導入量、CO2削減量等)を設定した研究開発、実証から社会実装までを継続して支援する事業であります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度末における流動資産は2,636,062千円となり、前事業年度末に比べ1,411千円減少いたしました。これは主に売掛金が195,512千円増加した一方、現金及び預金が126,810千円、売上高に紐づく研究開発活動にかかる仕掛品が50,995千円、バイオフィアウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分による立替金が18,870千円減少したことによるものであります。固定資産は100,228千円となり、前事業年度末に比べ65,603千円増加いたしました。これは主に機械及び装置が50,500千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は2,736,290千円となり、前事業年度末に比べ64,192千円増加いたしました。

② 負債

当事業年度末における流動負債は608,555千円となり、前事業年度末に比べ212,331千円増加いたしました。これは主に未払金が40,215千円、バイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金による仮受金が221,768千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が36,870千円減少したことによるものであります。固定負債は152,613千円となり、前事業年度末に比べ12,771千円減少いたしました。これは主にリース資産の賃貸借による長期リース債務が4,869千円、借入金の返済により長期借入金が7,940千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は761,169千円となり、前事業年度末に比べ199,560千円増加いたしました。

③ 純資産

当事業年度末における純資産合計は1,975,121千円となり、前事業年度末に比べ135,367千円減少いたしました。これは新株予約権行使により資本金が351千円、資本準備金が351千円増加した一方、利益剰余金が133,881千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は72.2%(前事業年度末は78.9%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、本項目において「資金」という。)については、前事業年度末より126,810千円減少し、2,274,249千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は3,378千円(前事業年度においては321,199千円の支出)となりました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算払いによる仮受金の増加額221,768千円、研究開発活動にかかる棚卸資産の減少額50,881千円、及び未払金の増加額41,149千円の増加要因があったものの、主に売掛金の発

生に伴う売上債権の増加額195,512千円、税引前当期純損失131,626千円の減少要因によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は81,333千円(前事業年度においては13,410千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出80,004千円の減少要因によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は48,855千円(前事業年度においては5,299千円の支出)となりました。これは主に新株予約権行使による株式の発行による収入702千円の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出44,810千円、及びリース債務の返済による支出4,715千円の減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響は、ワクチンの普及及びウイルス変異による重症化リスクの減少等により、段階的な経済活動の正常化が見込まれるものの、新たな変異株による感染拡大の可能性あります。また、ロシア・ウクライナ情勢に関して、戦争の長期化や経済制裁及びその報復措置等に関連した、円安並びに資源の供給不足及び価格上昇により、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下、2025年9月期につきましては、2022年9月期においてNEDOより受託したバイオファウンドリ事業や、前事業年度においてNEDOより受託したグリーンイノベーション基金事業及び当事業年度においてNEDOより補助金の交付が決定されたバイオものづくり革命推進事業(第1回公募)、NEDOより補助金の実施予定先として採択が決定されたバイオものづくり革命推進事業(第2回公募)等の国策案件が進捗することに伴い、関連するリソースを集中的に投下することにより、確実な収益化を目指してまいります。また、国内外のパートナー企業との民間案件につきましては、テクノロジーパッケージ等、既に契約済、又はそれに準ずる案件のみを業績予想に織り込むことで、より保守的で蓋然性の高い計画を策定しております。なお、新型コロナウイルス感染症による当社業績に与える影響は軽微と判断しております。

このような見通しのもと、来期は売上高1,046,770千円、営業損失148,910千円、経常利益13,770千円、当期純利益9,690千円を達成したいと考えております。

注1. バイオものづくり革命推進事業(第1回)は、「製紙産業素材を活用した バイオ燃料・樹脂原料等の商用生産」に向け、未利用資源 パルプ・古紙パルプ・ペーパースラッジを用いて糖化・発酵法にてエタノール・樹脂原料・アミノ酸の研究開発、実証から社会実装までを支援する事業であります。

2. バイオものづくり革命推進事業(第2回)は、「純国産木材バイオものづくりによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発」を通して国産材を活用した、純国産セルロース系バイオエタノール商業プラントを実現するための研究開発、実証から社会実装までを支援する事業であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401,060	2,274,249
売掛金	—	195,512
仕掛品	198,810	147,815
貯蔵品	1,493	1,606
前渡金	1,954	4,340
前払費用	7,427	4,681
立替金	26,726	7,855
流動資産合計	2,637,473	2,636,062
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,638	6,456
建物附属設備（純額）	709	1,486
機械及び装置（純額）	7,521	58,021
工具、器具及び備品（純額）	4,924	7,644
リース資産（純額）	14,385	9,590
建設仮勘定	—	16,143
有形固定資産合計	34,178	99,343
無形固定資産		
ソフトウェア	446	885
無形固定資産合計	446	885
固定資産合計	34,624	100,228
資産合計	2,672,098	2,736,290

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	44,810	7,940
リース債務	4,715	4,869
未払金	69,537	109,752
未払法人税等	11,074	11,423
未払消費税等	22,941	13,722
仮受金	234,950	456,718
その他	8,194	4,128
流動負債合計	396,223	608,555
固定負債		
長期借入金	146,680	138,740
リース債務	9,897	5,027
繰延税金負債	2,032	1,977
資産除去債務	6,775	6,868
固定負債合計	165,385	152,613
負債合計	561,609	761,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600,178	1,600,529
資本剰余金		
資本準備金	1,590,178	1,590,529
資本剰余金合計	1,590,178	1,590,529
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,082,208	△1,216,089
利益剰余金合計	△1,082,208	△1,216,089
自己株式	△28	△28
株主資本合計	2,108,120	1,974,941
新株予約権	2,368	180
純資産合計	2,110,488	1,975,121
負債純資産合計	2,672,098	2,736,290

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	897,422	1,002,540
売上原価	478,080	560,695
売上総利益	419,342	441,844
販売費及び一般管理費	526,259	590,638
営業損失(△)	△106,917	△148,793
営業外収益		
受取利息	28	228
為替差益	—	20
補助金収入	—	12,047
助成金収入	185	—
講演料等収入	443	240
その他	26	212
営業外収益合計	684	12,749
営業外費用		
支払利息	1,444	2,010
為替差損	294	—
株式交付費	185	31
営業外費用合計	1,924	2,042
経常損失(△)	△108,156	△138,087
特別利益		
新株予約権戻入益	—	6,788
特別利益合計	—	6,788
特別損失		
固定資産除却損	0	328
特別損失合計	0	328
税引前当期純損失(△)	△108,156	△131,626
法人税、住民税及び事業税	2,025	2,310
法人税等調整額	2,032	△55
法人税等合計	4,058	2,254
当期純損失(△)	△112,215	△133,881

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
			資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	1,596,272	5,040	1,586,272	1,586,272	△969,992	△969,992	—	2,217,592	180	2,217,772
当期変動額										
新株の発行	3,906	△5,040	3,906	3,906				2,772		2,772
当期純損失(△)					△112,215	△112,215		△112,215		△112,215
自己株式の取得							△28	△28		△28
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									2,188	2,188
当期変動額合計	3,906	△5,040	3,906	3,906	△112,215	△112,215	△28	△109,471	2,188	△107,283
当期末残高	1,600,178	—	1,590,178	1,590,178	△1,082,208	△1,082,208	△28	2,108,120	2,368	2,110,488

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
			資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	1,600,178	—	1,590,178	1,590,178	△1,082,208	△1,082,208	△28	2,108,120	2,368	2,110,488
当期変動額										
新株の発行	351	—	351	351				702		702
当期純損失(△)					△133,881	△133,881		△133,881		△133,881
自己株式の取得							—	—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									△2,188	△2,188
当期変動額合計	351	—	351	351	△133,881	△133,881	—	△133,179	△2,188	△135,367
当期末残高	1,600,529	—	1,590,529	1,590,529	△1,216,089	△1,216,089	△28	1,974,941	180	1,975,121

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△108,156	△131,626
減価償却費	7,063	14,667
株式報酬費用	1,408	4,600
新株予約権戻入益	—	△6,788
固定資産除却損	0	328
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,979	—
受取利息及び受取配当金	△28	△228
補助金収入	—	△12,047
助成金収入	△185	—
支払利息	1,444	2,010
株式交付費	185	31
売上債権の増減額(△は増加)	87,640	△195,512
棚卸資産の増減額(△は増加)	△48,488	50,881
立替金の増減額(△は増加)	353,580	18,870
その他の流動資産の増減額(△は増加)	11,279	360
未払金の増減額(△は減少)	32,072	41,149
未払又は未収消費税等の増減額	28,834	△9,219
前受金の増減額(△は減少)	△46,050	—
仮受金の増減額(△は減少)	△636,829	221,768
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,098	△3,970
その他	46	△111
小計	△318,068	△4,835
利息及び配当金の受取額	28	228
補助金の受取額	—	12,047
助成金の受取額	185	—
利息の支払額	△1,444	△2,010
法人税等の支払額	△1,901	△2,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	△321,199	3,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,956	△80,004
無形固定資産の取得による支出	△453	△1,053
その他	—	△275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,410	△81,333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,070	△44,810
リース債務の返済による支出	△4,567	△4,715
株式の発行による収入	2,772	702
自己株式の取得による支出	△28	—
その他	594	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,299	△48,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△339,908	△126,810
現金及び現金同等物の期首残高	2,740,969	2,401,060
現金及び現金同等物の期末残高	2,401,060	2,274,249

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	186.93円	174.91円
1株当たり当期純損失金額(△)	△9.97円	△11.87円

注1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	2,110,488	1,975,121
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,368	180
(うち新株予約権(千円))	(2,368)	(180)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,108,120	1,974,941
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,277,664	11,290,864

3. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純損失(△)(千円)	△112,215	△133,881
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△112,215	△133,881
普通株式の期中平均株式数(株)	11,253,925	11,280,257
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類(新株予約権の数1,835個)	新株予約権4種類(新株予約権の数1,818個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。